

## 指導研修クリニック（R3. 8月～）

旭川地区バスケットボール協会U12部会  
インテグリティ委員会

### ■ねらい

指導研修クリニックを行うことで、自チームの試合を振り返ったり、様々な立場からの助言を生かしたりしながら、今後のチーム作りの参考とする。また、インテグリティの観点から、「指導行動の指針（裏面）」はどうであったか、指導者自身が振り返る場とする。

### ■参加者

- ・両チーム指導者代表1名ずつ
- ・審判2名
- ・コミッショナー1（2）名 合計5（6）名

※場合によってはインテグリティ委員が同席させてもらうこともあります

### ■時間

- ・試合終了後、センターサークル付近で、5～6分をめどに行う。

### ■方法は以下に記載の通り（司会は原則としてコミッショナーが行う）

#### ①マンツーマンコミッショナーから（1分）

- 両チームのマンツーマンはどうだったか
- 旗が上がった事象について

#### ②審判から（各1分×2名）

- どんなことに気を付けて吹いたか
- 特にディフェンス時のアドバイス（手の使い方、シリンダーについて等）

#### ③各チームからの振り返りと交流（2～3分）

（審判やコミッショナーからも以下の点で気になったことはどんどん話してください）

- これまでの話への質問
- 今日のゲームの指導テーマの交流  
（例：失敗した子への励まし方の工夫。頑張っていない子への声掛けの工夫。  
チームとしての戦術がうまくいかない時の立て直し方 等）
- よかった声掛けをお互いに交流する
  - 励ます声掛け
  - 元気づける声掛け
  - 結果だけを見ないで、達成行動を見て声を掛けたか  
「（シュートは外れたけれど）ナイスドライブ」  
「（パスミスになったけれど）ナイスタイミング！」
  - 冷静な指導を心掛けたか
- 第三者から見たときに、気になった指導や声掛けの仕方を交流する
  - 怒ってばかりいなかったか
  - 威圧感のある指導ではなかったか
  - 支配的な指導を行っていなかったか

**最後はお互いに感謝の気持ちを表し、笑顔で指導研修クリニックを終えてください**

# U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

## <やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引きだす・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる

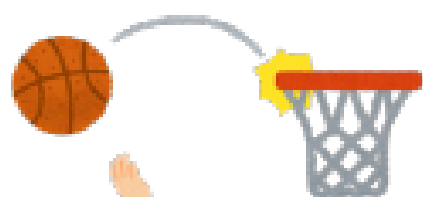


ナイスプレー！  
その調子！！



## <やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する



なにやってるんだ！  
言った通りにやれ！



みなさんの指導は  
どうですか？